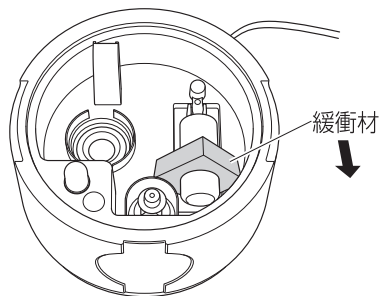


ご使用前に必ず本紙と取扱説明書を最後までよくお読みください。

プロミスト  
PK-701S

## ●ご使用前に

下部本体のフロートについている緩衝材を取り除いてください。



本体部の送風口や吸気口(底面)から液剤や水が入らないようご注意ください。

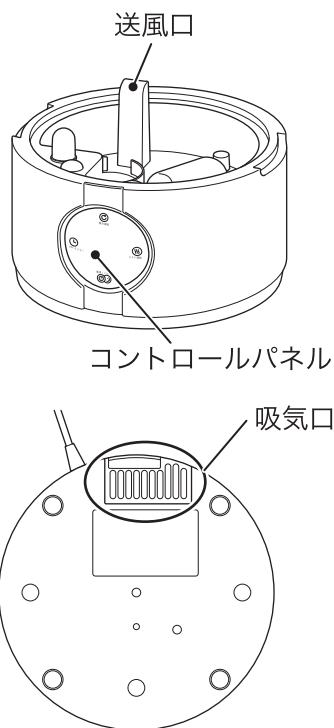
- ・タンクの脱着やお手入れのときは、送風口から液剤や水が入らないようご注意ください。
- ・本製品を移動する際は、必ずタンクを本体から取り外し、プール内の液剤をこぼさないように行ってください。
- ・お手入れの際などに、吸気口(底面)から水が入らないようご注意ください。
- ・コントロールパネル周辺が液剤や水で濡れないようご注意ください。

内部に液剤や水が入ると故障の原因になります。

長く上手にお使い頂くためにはお手入れが必要です。

長期間、次亜塩素酸水を噴霧していると、水に含まれるミネラル成分が振動子周辺に付着することがあります(スケールの付着)。スケールの付着が進行すると、振動子の寿命低下やパッキンの劣化を早めることがありますので、取扱説明書をご参考にお手入れを行ってください。

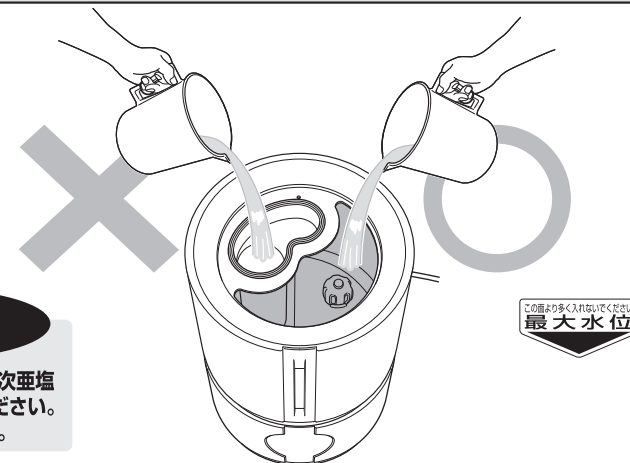
取扱説明書「お手入れのしかた」(16~17ページ)



## ●タンクに次亜塩素酸水を入れる ※電源を切った状態で行ってください。

本製品には空間噴霧に適した次亜塩素酸水(または、水で希釈した次亜塩素酸水溶液)以外のものを入れないでください。

### タンクを本体にセットした状態での給水方法



### 注意

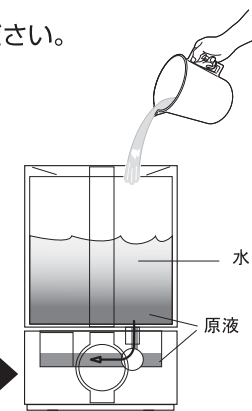
ミスト送気パイプ側に次亜塩素酸水を入れないでください。故障の原因になります。

- 1.タンクカバーを開け、予め噴霧に適した濃度に調節した次亜塩素酸水を入れてください。(希釈が必要な次亜塩素酸水は、予め希釈して濃度調節した上で入れてください。)
- 2.液剤は、最大液剤水位以上入れないでください。
- 3.ミストノズル付きタンクカバーでタンクに蓋をしてください。

### タンクに液剤を入れる際のご注意

- 希釈が必要な次亜塩素酸水を給水する場合は、あらかじめ希釈した上で、濃度調整した液剤を給水してください。

タンクを本体にセットした状態で、希釈する必要がある次亜塩素酸水を給水する場合、先に入れた液剤(または水)は、タンク内から下部本体のプールに落ちるため、後から入れた液剤(または水)と十分に混ざり合わず、プール内とタンク内とで液剤濃度が均一になりません。



【例】先に入れた次亜塩素酸水と、後から入れた希釈のための水が均一に混ざり合わないイメージ図